

議 事 録

1 会議名	平成22年度 第2回みのかも定住自立圏共生ビジョン懇談会 および第1回ワーキンググループ会議
2 開催日時	平成22年8月24日（火）19時から21時まで
3 出席者名	委員：大矢座長、椎葉委員、八田委員、小林委員、加藤（賢）委員、山田委員、小西委員、高井委員、太田委員、佐伯委員 美濃加茂市：中嶋経営企画部長、小田島課長、遠藤、堀部、高田、山本 川辺町：座馬課長
4 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市・川辺町の定住自立圏の形成に関する協定書（素案）について ・平成22年度に進める事業提案について ・具体的取組事業の進め方について ・意見交換
5 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各ワーキングの平成22年度の検討方針について協議を行うとともに、事業実施計画に関する提案方法について確認を行った。
6 審議の内容	<p>別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す。</p> <p>1 開 会 (省略)</p> <p>2 座長挨拶</p> <p>3 美濃加茂市・川辺町の定住自立圏の形成に関する協定書（素案）について (資料1説明)</p> <p>4 平成22年度に進める事業提案について (資料2説明)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各ワーキンググループ会議会場へ移動</p> <p>安心・安全向上WG 2階203会議室</p> <p>食文化・産業振興WG 2階202会議室</p> <p>人口・交流拡大WG 4階401会議室</p> </div>
	<p>第1回ワーキンググループ会議</p> <p>5 具体的取組事業の進め方について (資料3～6説明)</p>

椎葉WG座長

安心・安全向上WG

- ・福祉関連に焦点をあてて進めていくことになった。
- ・1つは、福祉サービス従業者のスキルアップ支援事業。介護保険下の従業者は業務が大変な上、賃金も十分でない。安心・安全な圏域を作るために、福祉従業者のスキルアップにつながる支援をする。
- ・もう1つは、エリアサービスマップの作成。広域の福祉サービスは事業者毎の検索はできるが、圏域全体のサービス内容の検索ができない。
- ・エリアサービスマップについては5年間だけでなく継続して修正が必要なので、事業主体が問題になる。このため、今年度は福祉サービス従業者のスキルアップ支援事業にターゲットを絞ってやっていくことになった。
- ・スキルアップ支援により、定着率の向上などの効果があげられる。5年間という短い枠でも何人かのスキルを上げることができ、そういう方が指導者になり、この地域の福祉を支えるという点からも意味がある。昨年、美濃加茂市社会福祉協議会の奥村氏が提案されたものなので、次回オブザーバーとして参加頂き、肉付けしていきたい。

大矢WG座長

食文化・産業振興WG

- ・幅の広い内容なので、大きく農業分野、観光分野に分けた。
- ・農業分野については、農産物の栽培や加工、それにとまなう地産地消、地産外商の点から農業の産業化を図っていきたい。また、この地域はしいたけ菌の産地で歴史もあるので、過去の実績を再現できる対策をしたい。
- ・観光分野については、木曾川、ライン下りなどの地域資源を活かしていきたい。個人的には帆掛船の復活に関心がある。
- ・農業産業観光という括りで次のステップに入りたい。
- ・WGで次のステップとしてより具体的に進めていきたい。課題があまりにも大きいので、今後ゆっくり固めていきたい。

高井WG座長

人口・交流拡大WG

- ・多文化共生に絞ってやっていく。
- ・具体的に教育的支援を3つの市町でやればより交流できるのではないかな。
- ・外国人と共に加茂地域を作っていきたい。
- ・多文化共生センター（仮称）を設置する。一時的なものではなく、きちんとしたベースを作る。その際、教育指導員、スタッフ、運営資金が必要になる。
- ・外国人数、国籍など、しっかり現状把握をして問題点をあげる。
- ・教育支援の状況を把握する。各町の教育委員会は連携しているだろうが、どう連携しているか把握したい。
- ・課題解決に向けては、外国人団体、教育委員会の話を聞き、それに対して資金調達していくことが必要。関係者と話し合い、積み上げて解決していく。
- ・「共に我々のまちをつくっていく」という意識を皆で持てるまちにしてい

けば、すばらしいことができると思う。

意見交換

・バス事業は、すぐに実施できそうな事業であるが、今回は、そうした事業を取り上げる必要はないか。

委員

・バス事業については、行政側にて調整段階にある。

小田島課長

・外国人との交流を考えた場合、文化・教育からスタートして、次は就職といったテーマに発展的に拡大していく可能性がある。行政的な縦割を超える必要がある。

委員

・行政的な意味での「教育」（学校教育）ということではなく、教育を考えていく必要がある。

委員

・WGでは、ぜひ行政的な縦割をなくす議論を進めてほしい。

小田島課長

6 お知らせ

・次回懇談会 10月8日（金）

（議事終了）

閉 会